

ベルギーニュース

最も寒い日

3/18、最高気温が1~2°C、体感温度-10°Cというベルギーでの観測以来最低気温の3月18日であった。前日の17日も最低気温を記録しており、この低気温は-6°Cまで下がる予定であった。この現象は、ベルギーだけでなくヨーロッパ全域で起こっており、極渦(北極からの巨大低気圧)の影響であるという。

デルヴォー最盛

1829年以來のベルギーの高級カパンブランド・デルヴォーがブリュッセルおよびフランスのBourg-Argentalに次ぐ3店目のアトリエをフランスAvoudreyに展開する。また、今年10月には、ニューヨーク5番街にもアメリカで初めての店舗を開店する。王室御用達業者である当店は、2011年香港系の企業FHB(First Heritage Brands)により大部分を買収されている。

自動販売機でピザ

メッヘレンの駅構内にピザの自動販売機「Let's Pizza」が登場した。希望の具をチョイスして3分待てば、焼き立てのピザが出てくるというもの。現在具は4種類しかないが、注文してから生地を作り、ソースと具を乗せて焼き上げる。すでにイギリスとイタリアで人気を呼んでいるこの自動販売機は、成功すればベルギーでも設置場所を拡大するという。誰にでも人気のピザ、レストランに行く時間のない旅行者に利用してもらえればと経営者の弁。



ベルギーの航空界

ベルギーの航空会社Air Belgiumは、4/30、シャルルロワ空港から香港に向けての飛行を開始する。搭乗券の販売は4/3から開始し、往復エコノミークラスを€449、プレミアムクラスを€999、ビジネスクラスを€1,799の価格で提供。週4便の飛行でシャルルロワ空港を14時に出発し、翌日7時半に香港に到着する。乗務員は、フランス語、オランダ語、英語を始め北京語と広東語を話す。今後Air Belgiumは、夏までにさらに中国への飛行を増やし、また南北アメリカ便も視野に入れている。

免許取り上げ

Cara(Centre d'aptitude à la conduite et d'adaptation des véhicules車両運転能力および適応管理センター)は、医療・精神検査および実際の運転を確認して、適応性があるかどうかを見極める必要があると、2017年に7,099人に対しチェックをした。このうち11.2%の人は、免許証を取り上げられた。若者でも精神的または肉体的に問題がある場合は、検査の対象となるという。



暖かい4月

ブリュッセル・ユックルにある気象庁の1901年観測以来、1969年4月8日に22.7°Cを記録していたが、今年4/8、15時の気温がそれを上回る最高気温23.3°Cを記録した。前日の土曜日にも、すでに20°Cを超えていた。また、Campine(リンブルグ州)のKleine-Brogelという町では、4/8に23.6°Cを記録していた。



ベルギー人劣等生

ベルギー道路安全委員会(Vias)が38カ国での制限時速オーバー、飲酒運転、運転中の携帯電話使用などの道路安全性を比較したところ、ベルギーは世界で最も飲酒運転をする国という最悪のデータがでた。過去12カ月間にベルギー人の43%の人が、飲酒運転をしていたという。

雇うのも大変

Eurostat(ユーロパ統計局)のEU諸国での調査によると、ベルギーは労働者を雇用するための負担が多い国で、2016年に1時間あたりの負担額が平均39.2ユーロであったのが、2017年には39.6ユーロと高額になり、デンマークの42.5ユーロに次ぐ高額と分かった。EU諸国内では負担額の格差が大きく、ブルガリアでは4.90ユーロ、ルーマニアでは6.30ユーロ、ポーランドでは9.40ユーロとなっている。EU諸国内の平均額は26.80ユーロで、ユーロ使用国内では30.30ユーロである。この負担額とは、給料以外に会社が負担する社会保障費が含まれる。

プレートナンバー

2014年4月に車のプレートナンバーの自由化(パーソナライズ)に伴い、1,000ユーロでナンバーを選べたが、2015年12月に申請額が2,000ユーロに値上げされ、それまで毎月平均546件の申請があったが、2016年および2017年の平均申請件数が141件まで落ちた。そこでモビリティ省は、申請額を元の1,000ユーロに値下げし、月平均の申請件数を469.5件まで回復させた。

一時緊急避難

4/11、オーデルゲムのカルフルで13h45ごろガス漏れかもしれないとの通報で、一時店舗が閉鎖された。ガス会社Sibelgaが検査したところ異常はなく、16h30ごろ店舗は営業を再開した。消防署のスポークスマンによると、倉庫部分に微量のガスが検出されたという。

